

令和6年2月6日

報道関係 各位



作新学院大学・同女子短期大学部
企画広報室

作新大・作新短大「教職実践センターシンポジウム」開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本学の教育・研究に対して多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、この度本学教職実践センターでは、「インクルーシブ教育に向けた学級づくり・学校づくりの課題と方策 ～今、私たちができること～」と題し、4年ぶりにシンポジウムを開催いたします（2020～2022年度はコロナ禍によりオンデマンド講演会を開催）。ぜひ取材をご検討いただければ幸いです。

敬具

記

1. 開催日程

- 〔日程〕 令和6年2月9日（金） 16：30～18：00（開場16：00）
- 〔場所〕 作新学院大学（宇都宮市竹下町908） 作新清原ホール
- 〔参加費〕 無料
- 〔主催〕 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 教職実践センター

2. シンポジウム

- 〔テーマ〕 インクルーシブ教育に向けた学級づくり・学校づくりの課題と方策
～今、私たちができること～
- 〔鼎談〕 雉嶋 邦彦 氏（鹿沼市教育委員会 学校教育課指導主事）
鶴田 祐介 氏（那須烏山市教育委員会 学校教育課係長兼指導主事）
高浜 浩二 氏（作新学院大学 教授）

3. 参考：過去の開催風景



お問い合わせ先

作新学院大学・同女子短期大学部

企画広報室 青山 TEL028-670-3614



SAKUSHIN GAKUIN
UNIVERSITY

令和5年度

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 教職実践センターシンポジウム

インクルーシブ教育に向けた 学級づくり・学校づくりの課題と方策 ～今、私たちができること～

インクルーシブ教育とは、国籍や人種、宗教、性差、経済状況、障害の有無に関わらず、全ての子どもたちがともに学ぶ仕組みのことです。これまで、インクルーシブ教育の実現・普及が推進され、数多くの取り組みがなされています。2021年の中央教育審議会の答申においても、特別支援教育の考え方を通常の指導や教育課程の編成・実施にも活かしていくことの重要性が指摘されています。

その一方で、2022年度には、通常学級において「学習面または行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合が8.8%であったことや、不登校者数やいじめの件数が過去最多であったことが報告されています。また、貧困家庭、外国籍の児童生徒、性的マイノリティの問題、教員の働き方改革など、教育現場では多くの課題を抱えています。現代は、まさにインクルーシブ教育に向けた過渡期にあると言えます。

そこで、当センターでは、インクルーシブ教育に向けた学級づくり・学校づくりという視点から、教育の現場で教職員、保護者、関係機関と課題を共有しながら、課題解決のためご尽力されている先生方と大学教員の3人による鼎談を行うことにしました。学級担任はじめ実際に担当されている先生方、保護者、そして、何より児童生徒の皆様がいきいきと学校生活を送っていただけるようにするため、幼保、小、中、高、大学の先生方、保護者の皆様と課題を共有していきたいと考えております。

日時

2024年2月9日(金) (開場16:00) 16:30～18:00

会場

作新学院大学 作新清原ホール 駐車場(無料)有

鼎談

雉嶋 邦彦 氏

鹿沼市教育委員会学校教育課指導主事

鶴田 祐介 氏

那須烏山市教育委員会学校教育課係長兼指導主事

高浜 浩二 氏

作新学院大学教授

参加費

無料

参加申し込み方法

右のQRコードまたはURLからお申込みください。

<https://forms.gle/TN5fg2KLrtKDy4f97>

※学校または団体・グループ単位でお申込みいただいても構いません。



お問い合わせ先

教職実践センター 電話：028-612-3223

e-mail：tdjissen@sakushin-u.ac.jp

主催
後援(申請中)

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部教職実践センター

栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会、鹿沼市教育委員会、那須烏山市教育委員会、

栃木県小学校長会、栃木県中学校会、栃木県高等学校長会、栃木県連合教育会、

栃木県PTA連合会、栃木県高等学校PTA連合会、宇都宮市PTA連合会、栃木県臨床心理士会